

# 週間感染症情報

2019年40-41週 2019年9月30日より2019年10月13日まで

40週 41週

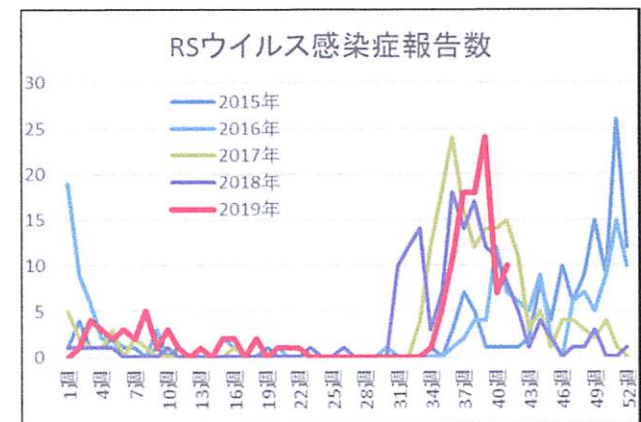
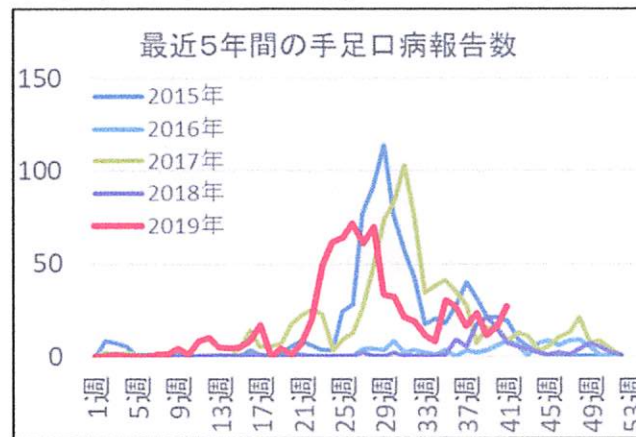
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		1
溶連菌感染症	5	17
手足口病	16	27
ヘルパンギーナ	1	2
伝染性紅斑	3	3
感染性胃腸炎	16	8
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)	1	
突発性発疹	2	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	8	7
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	4	9
RSウイルス感染症	7	10
マイコプラズマ感染症	1	
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		1
インフルエンザA		1
インフルエンザB		

遅くなりましたが40-41週、2週間分の報告です。心配されたインフルエンザAの報告数の増加はありませんでした。41週のインフルエンザAは、岡山市高松地区の小学5年生でした。インフルエンザワクチン接種を早めに勧めています。40週のマイコプラズマ感染症と41週の百日咳は、市内の小学5年生で混合感染でした。溶連菌感染症は増加しました。特に山手学区の報告が多いです。その他、保育園から中学生まで市内全域より報告があります。

発熱が目立たない手足口病の小流行が続いています。左下のグラフの25週前後のピークは、高熱で多彩な発疹のコクサッキーウイルスA6の流行です。今回は別のウイルスによるもので、2回目のり患例も多いです。家族内感染で父母や兄弟のり患もあるようですが、熱がないので受診する例は少ないです。

アデノウイルス感染症の報告も多いです。結膜炎を伴う咽頭結膜熱(プール熱)の症例もあります。この場合は、解熱後2日間の出席停止となり、保育園では登園許可書が必要です。

RSウイルス感染症は、右下のグラフの様にピークを超えましたが、報告は続いています。年少乳児では、細気管支炎を起こし入院する症例もあります。まだまだ、注意が必要です。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)